



貴 峯 だ よ り

第 151 号

発行者 (福)神奈川県厚生協会
理事長 岩淵 壽郎
E-mail : kihoso-w@vesta.ocn.ne.jp
住 所 平塚市達上ヶ丘1-9
電話 0463(31)0617(代)
貴峯荘ワークピア 印刷科
電話 0463(35)6170(直通)
E-mail : insatsuka@kihoso.net



貴峯荘第2ワークピア

航空写真

(平成28年4月19日撮影)

伊勢原市岡崎 6530-1

TEL.0463-51-6044

FAX.0463-51-6045

周囲には梨畑や梅林、
ぶどう畑がある環境です。

貴峯荘第2ワークピアの開設と 施設長就任にあたり

貴峯荘第2ワークピア 所長 夏井 宏之



皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日ごろより一方ならぬご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、かねてより計画を進めてまいりました新設施設『就労継続支援A型・B型事業所 貴峯荘第2ワークピア』を平成28年6月1日に開設するとともに施設長に就任いたしました。

改めてその重責を感じておりますが誠心誠意努力してまいりますので、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

さて、建設工事期間中には近隣の皆様方をはじめ、関係者の方々に深いご理解とご協力をいただき、あらためて感謝と御礼を申し上げます。今年の2月末に建物が完成し、3月に竣工式、5月に内覧会を開催させていただきますことができました。その折には、たくさんの方々にご臨席・ご来場を賜り、温かい励ましのお言葉をたくさんいただきました。

『貴峯荘第2ワークピア』は、クリーニング作業を中心とした就労継続支援施設でございます。特徴としましては、近年のクリーニング業界の大勢でもある『清潔である』ことを第一に対応することで、お客様の信頼を得るとともに、働く利用者・職員も『健康』で『安全』な作業が提供できるクリーニング工場を目指し、施設ならびに設備の清潔保持が容易にできるよう最新の技術を取り入れました。

職員・利用者の方々が共に汗をかき、がんばることができるよう工場を完成することができたと感じております。

これから『貴峯荘第2ワークピア』は、より多くの障害のある方に就労の機会を提供し、技術の習得等を目指すため障害者一人ひとりの可能性を信じ、特性に合わせた支援と作業メニューを提供することを目標に、職員一同努力し続けてまいります。伊勢原の方々をはじめとした関係各機関の皆様方には、さらなるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



支援第二課 なでしこ
池田 晶

新社会人 として

支援第二課 やまゆり
山口 葵



3月末より入職致しました。

4月から5月までの2ヶ月間は、デイサービスで研修をさせていただきました。デイサービスは、月曜日から金曜日まで決まった利用者さんが利用しています。

朝、利用者さんが施設に来てから帰るまでの流れは大体決まっています、職員同士で協力しながら利用者さんの介助や支援にあたっている場面を、私は研修中多く見ました。このことから、支援者が1日の流れを把握し、職員同士で協力しながら介助や支援をしていくことは、利用者さんがサービスを受けるにあたり、とても大切なことだと感じました。

私は、利用者さんが施設で安心して過ごせるよう、職員間でコミュニケーションを図り、利用者についての情報を共有するなどして、職員同士で連携をとりながら介助や支援をしていきたいと思っています。

また、6月から8月までの2ヶ月間は、入所施設の貴峯荘湘南の丘（なでしこ）で研修をさせていただきました。

なでしこは、常時介護を必要とする方が入所しています。

入所施設はデイサービスと違い、利用者さんの人数も多く、勤務時間によって業務内容が異なります。その為、職員間での利用者についての情報等は、業務日誌や利用者関係、業務関係のノートを通して共有しています。

私は、日々利用者さんを支援していくにあたり、利用者さんの少しの変化に気づき、そのことを的確に記録に残していくことは、利用者さんを支援していく上でとても重要なことだと学びました。

私はこれから利用者との様々なコミュニケーションを通して、利用者の色々な側面を知り、利用者が必要としていることを考えたり、見つけたりして支援につなげていきたいと思っています。また、利用者の立場になって物事を考え、利用者を理解しようとする姿勢や自分から利用者に働きかけていく姿勢を忘れずに、利用者に関わっていこうと思います。

まだまだわからないことや至らない点が多々あると思いますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。

昨年度末より貴峯荘に入職致しました。山口 葵と申します。

初めての就職、初めての現場と『初めて』がたくさんあり、刺激を受けながら日々お仕事をさせていただいております。これまで各課で研修をさせて頂きそれぞれの様子について学ばせて頂きました。各課とも雰囲気はまったく違い障害者の支援という中でもいろいろな仕事があるということを学びました。そしてたくさんの方の利用者の皆様と関わることができ、とても楽しく感じています。気さくにあいさつを下さったり、「山口さん」と声をかけて下さったりする皆様にたくさんの元気をもらい私のパワーになっています。

専門学校では保育を専攻していた為、生活支援や介護の実践は初めてのことでまだまだ戸惑うことも多くありますが、先輩方の熱心なご指導により毎日が刺激となりたくさんの知識を見つけることが出来ていて感じています。

今後の目標としては、まずは技術・知識を身につけ支援員として一人前になり、利用者の皆様との信頼関係を築いていくこと。そして資格取得をしてスキルアップしていくことを目標としていきたいと思っています。いつかは自分の大きな目標でもある相談業務に携われるようになりたいと思います。

まだまだ未熟な部分もたくさんありますが自分が成長していけるよう、ひとつひとつを確実に学び頑張っていきたいと思っています。また、一日でも早くお力になれるようになりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

新 人 紹 介



支援第二課 なでしこ 野坂 直子

楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しくなる。そのような環境を自ら生み出せたら良いなと思い、3月より毎日楽しく働かせて頂いています。ご指導よろしくお願い致します。



支援第二課 やまゆり 井上 正子

貴峯荘の皆様、未熟者の私ですが、笑顔をやさず！をモットーに頑張ります。よろしくお願い致します。



支援第三課 及川 裕子

5月より採用になりました。1日も早く、仕事になれるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



第一貴峯館 南川 浩子

利用者の皆様の笑顔と優しさに支えられて楽しく仕事をさせていただけることに感謝しています。一日も早く仕事になれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



組立軽作業 永田 信

5月より入職しました。少しでも早く仕事に慣れ、利用者さんと楽しく過ごせるように頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



クリーナース 田淵 良太

3月に秦野養護学校を卒業して、就職しました。まわりの先輩に教えてもらいながらがんばって作業しています。みなさん、よろしくお願いします。



クリーナース 高野 雅夫

4月より入職致しました高野です。年齢いつての入職ですが一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



このたび、第109代神奈川県議会議長に就任されました森 正明 県議から祝辞をいただきました。



まだ少人数ですが頑張って作業しています。



●平成28年6月、神奈川県総合リハビリテーションセンターのクリーニング作業を継続して受注することと、より多くの障害者の方に就労の機会を提供する目的で、貴峯荘第2ワークショップを開設しました。

●人と地球にやさしい最新の設備を整えた作業環境で、障害者の皆様が地域社会の一員として充実した生活が送れるよう支援していきます。

第2ワークショップが オープンしました!!



3月7日に竣工式を開きました。ご臨席いただいた皆様、ありがとうございました。



平塚の皆さんが施設見学に来られました。

洗濯棟改修・作業棟塗装防水工事



作業場の
出入りも
スムーズに!



明るく、笑顔あふれる空間
になりました!!



このたび「安全性の向上」と「作業環境の改善」を目的に、洗濯棟の改修工事を行いました。

主な内容

- ①内装を中心とした改修、天井材・床材の張り替え・壁の塗装
- ②プレス機・アイロン台の台数・設置場所を変更し、たたみエリアを拡大
- ③その他、排気設備の更新、出入口の改修、各部補修、外壁塗装など



美味しい食事に
思わず笑顔が♪
職員も楽しく
頑張ってます！



6月12日
卓球競技会



写真で振り返る 貴峯荘の行事



河野太郎衆議院議員に
ご挨拶をいただいて、
夏まつり開始です！



頑張って
作った
作品と
ともに...



素敵な音楽演奏
にウツトリ♪



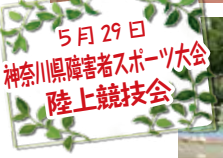
第2ワークピア所長から
丁寧な説明がありました。



馬入・光と風とはなつつみ



桜満開の
キャンパスで
皆で記念写真



日頃の練習の
成果を球に
込めて



平成二十八年年度事業計画

平成28年度は、「1億総活躍社会」を目指す新三本の矢「GDP600兆円、子育て（希望出生率1.8）、介護（介護離職ゼロ）」のうち2本が社会福祉に直結し、福祉がクローズアップされる年明けとなりました。

社会福祉法人は、大きな政策課題を担いながら、同時に自らの運営の適正化を求める世論に応えていく責務を依然として課せられています。

社会福祉法人神奈川県厚生協会は、世論の声を真摯に耳を傾け、適切な対応を心掛けると共に、地域社会との絆を一層強める事によって、地域拠点施設としての基盤を更に強固にし、社会の公器としての責務、使命を果たしてまいります。

平成28年は、以上の基本認識にたちつつ法人の運営については、「第二次中期行動計画」の着実な推進に中心的な役割を果たします。また、組織の要として、「介護」「就労」「医療」「給食」等各部门との連携、強化に努め、組織一体化への役割を果たします。

「法人本部事務局」は、現法人使用地の取得について検討します。また、グループホームの更なる整備拡大を図り、利用者の地域生活への移行と在宅障害者の自立を促進します。

「貴峯荘」は、利用者支援を充実します。具体的取組として、入所支援、

生活介護、短期入所の新規利用の拡大を図ります。

「貴峯荘第一貴峯館」は、就労支援、社会参加等を通して地域生活ができるように支援します。

「貴峯荘ワークピア」は、「貴峯荘第2ワークピア」は、さらに営業活動の強化を図ります。具体的取組として、障害者優先調達推進法の周知に努め、顧客の新規開拓と作業を確保します。

「貴峯荘湘南の丘」は、利用者に対する支内容、問題点の早期発見とそれ解決に向け虐待防止に取組ます。

「貴峯荘地域支援センター生活介護」は、一人ひとりの障害特性の理解に努め、個々に合った支援をすることともに、日中活動の拡大を図り利用者の受け入れ体制を整えます。

「貴峯荘地域支援センター相談支援」は、サービス等利用計画の相談及び作成など、きめ細かい支援に努め、新たな事業形態として、「身元保証」や「葬送支援」等の実施体制を研究します。

収益事業である「厚生協会クリナーズ」は、神奈川総合リハビリテーションセンター事業団の再整備に関連して事業の見直しを検討します。



平成二十七年年度事業報告

平成27年は、貴峯荘湘南の丘は開設10周年を迎えました。

創立記念事業として、6月12日の貴峯荘創立記念日に、和洋23品目のバイキング形式による昼食会を実施しました。また、貴峯荘湘南の丘10周年記念号を発行して、10年間の様々な思い出を振り返りました。また、創立10周年記念夏まつり、創立10周年記念カラオケ大会、創立10周年記念クリスマス忘年会、そして、創立10周年を記念して、永年勤続職員表彰を実施しました。また、職員一同、感謝の気持ちを込めて理事長へお花を贈呈しました。

「貴峯荘」「湘南の丘」は、より質の高い施設入所支援・生活介護サービスの提供を目指し、医療機関の協力を得ながら利用者個々の特性に応じた介護支援、リハビリ訓練を実施しました。

また、ボランティアの方々にも協力をお願いしながら、日中活動の充実に努めました。平塚市春日野中学校吹奏楽部の皆さんには、年2回の演奏会を開催していただき、利用者の皆さんが楽しみにしている行事となりました。また、陶芸教室を復活させ日中活動の充実強化に努めました。その他、餅つき、絵画、書道、茶道、音楽、カラオケなどボランティアの方々に支えられて実施しました。

「貴峯荘ワークピア」は、就労継続

支援事業B型として、障害者優先調達推進法の効果的活用にもさらに積極的に取り組み、成果をあげることができました。また、社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団の再整備事業に伴い、障害者雇用を継続すると共に、七沢学園利用者の実習場所を確保するために、貴峯荘第2ワークピアの設立に取り組みと同時に、貴峯荘ワークピアの老朽化及び環境整備のために、改修工事に着手しました。

また、「貴峯荘地域支援センター（生活介護事業所）」においては、在宅の利用者の日中活動の充実及び入浴サービス等の支援に努めました。

さらに、「相談事業」については、関係機関と連携し、サービス等利用計画の相談及び作成など、より一層の支援に努めました。

健康管理状況においては、春と秋の二回に亘り健康診断を実施しました。さらに、各種感染症予防策を講じ、職員研修の実施及び来所者用マスク・消毒機器等の配置、手洗い・うがいの徹底のほか、入所利用者の外出等の自粛、家族等への面会場所の限定など可能な限りの感染予防に万前を期し、インフルエンザ、ノロウイルスの感染者は皆無でした。

また、平成26年に購入したマイクロバスで、社会見学の一環として国会議事堂見学に行き、議員食堂で一番人気のカレーライスを食しました。

貸借対照表				(単位：千円)			
資 産 の 部		当年度末	前年度末	増 減			
流 動 資 産		604,406	290,280	314,126			
現金預金		241,837	174,660	67,177			
事業未収金他		112,685	108,086	4,599			
未収金		50,119	6,908	43,211			
立替金		199,765	626	199,139			
		—	—	—			
		—	—	—			
固 定 資 産		2,510,306	2,099,883	410,423			
基本財産		1,600,564	1,272,675	327,889			
基本財産特定預金		1,000	1,000	0			
現 金							
土 地		245,992	215,992	30,000			
建 物		1,353,572	1,055,683	297,889			
その他の固定資産		909,741	827,208	82,533			
構 築 物		32,410	13,410	19,000			
機械及び装置		87,430	18,511	68,919			
車両・器具備品他		18,087	19,408	(1,321)			
投資有価証券		653,406	653,488	(82)			
拠点区分間貸付金		45,448	10,448	35,000			
退職給付引当資産		43,266	51,178	(7,912)			
その他の固定資産		180	180	0			
積立預金		29,512	60,585	(31,073)			
資産の部合計		3,114,712	2,390,163	724,549			

負 債 の 部				(単位：千円)			
流 動 負 債		当年度末	前年度末	増 減			
事業未払金		362,237	102,696	259,541			
その他の未払金		47,641	34,384	13,257			
1年以内返済予定借入金		249,845	7,666	242,179			
1年以内返済予定リース債務		37,636	29,657	7,979			
預り金他		1,037	1,037	0			
仮受金		944	1,467	(523)			
賞与引当金		39	0	39			
賞与引当金		25,095	28,485	(3,390)			
固 定 負 債		814,645	363,016	451,629			
設備資金借入金		814,645	363,016	451,629			
リース債務		724,634	299,056	425,578			
拠点区分間長期借入金		1,296	2,333	(1,037)			
退職給与引当金・慰労金		45,448	10,448	35,000			
退職給与引当金・慰労金		43,267	51,179	(7,912)			
負 債 の 部 合 計		1,176,882	465,712	711,170			
基 本 金		36,000	36,000	0			
国庫補助金等特別積立金		552,689	573,656	(20,967)			
その他の積立金		781,031	1,104,334	(323,303)			
次期繰越活動増減差額		568,109	210,461	357,648			
(うち当期活動増減差額)		34,345	49,152	(14,807)			
純資産の部合計		1,937,830	1,924,451	13,379			
負債及び純資産の部合計		3,114,712	2,390,163	724,549			

事業活動計算書					単位：千円	
勘 定 科 目		決算額	前年度決算額	差 異		
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	140,527	151,969	－ 11,442	
		自立支援費等収益	480,572	471,104	9,468	
		利用者負担金収益	50,826	52,739	－ 1,913	
		補足給付費収益	18,368	20,832	－ 2,464	
		その他の事業収益	5,441	2,846	2,595	
		その他の収益	4,798	5,025	－ 227	
	費 用	経常経費寄付金収益	1,375	849	526	
		サービス活動収益計（1）	701,907	705,364	－ 3,457	
		人件費	362,156	348,838	13,318	
		事業費	87,461	90,779	－ 3,318	
		事務費	86,930	71,316	15,614	
		就労支援事業費用	123,979	132,890	－ 8,911	
	サービス活動増減差額（3）＝（1）－（2）	減価償却費	60,267	70,063	－ 9,796	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	－ 31,944	－ 33,911	1,967	
		徴収不能額	0	0	0	
		サービス活動費用計（2）	688,849	679,975	8,874	
		サービス活動増減差額（3）＝（1）－（2）	13,058	25,389	－ 12,331	
サービス活動外増減の部	収 益	借入金利息補助金収益	1,981	1,827	154	
		受取利息配当金収益	1,303	1,726	－ 423	
		投資有価証券売却益	0	0	0	
		その他のサービス活動外収益	23,212	26,076	－ 2,864	
		サービス活動外収益計（4）	26,496	29,629	－ 3,133	
		利息支出	4,421	4,289	132	
	費 用	投資有価証券売却損	388	165	223	
		その他のサービス活動外費用	399	452	－ 53	
		サービス活動外費用計（5）	5,208	4,906	302	
		サービス活動外増減差額（6）＝（4）－（5）	21,288	24,723	－ 3,435	
		経常増減差額（7）＝（3）＋（6）	34,346	50,112	－ 15,766	
特別増減の部	収 益	施設整備等補助金収益	0	3,558	－ 3,558	
		設備資金借入金元金償還補助金収益	12,773	12,773	0	
		事業区分間繰入金収益	0	0	0	
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0	
		サービス区分間繰入金収益	0	200,000	-200,000	
		特別収益計（8）	12,773	216,331	-203,558	
	費 用	固定資産売却損及び処分損	0	3	-3	
		国庫補助金等特別積立金積立額	12,773	17,288	-4,515	
		事業区分間繰入金費用	0	0	0	
		拠点区分間繰入金費用	0	0	0	
		サービス区分間繰入金費用	0	200,000	－ 200,000	
		特別費用計（9）	12,773	217,291	－ 204,518	
		特別増減差額（10）＝（8）－（9）	0	(960)	960	
繰越活動差額	当期活動増減差額（11）＝（7）＋（10）		34,346	49,152	－ 14,806	
	前期繰越活動収益差額（12）		210,461			
	当期末繰越活動収益差額（13）＝（11）＋（12）		244,807			
	その他の積立金取崩額（14）		332,000			
	その他の積立金積立額（15）		8,698			
	次期繰越活動増減差額（15）＝（13）－（14）		568,109			

資金収支計算書				単位：千円		
勘 定 科 目		予算額	決算額	差 異		
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	147,541	140,527	7,014	
		自立支援費等収入	485,513	480,572	4,941	
		利用者負担金収入	49,885	50,826	(941)	
		補足給付費収入	19,325	18,368	957	
		その他の事業収入	4,952	10,240	(5,288)	
		借入金利息補助金収入	2,461	1,981	480	
		経常経費寄付金収入	1,000	1,375	(375)	
		受取利息配当金収入	3,200	1,302	1,898	
		その他の収入	24,350	23,212	1,138	
	支出	事業活動収入計（１）	738,227	728,403	9,824	
		人件費支出	392,844	370,323	22,521	
		事業費支出	94,594	87,461	7,133	
		事務費支出	85,645	86,930	(1,285)	
		就労支援事業支出	116,042	121,625	(5,583)	
		支払利息支出	5,536	4,421	1,115	
		その他の支出	0	399	(399)	
		事業活動支出計（２）	694,661	671,159	23,502	
		事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）	43,566	57,244	(13,678)	
	施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0
			設備資金借入金元金償還補助金収入	12,772	12,773	(1)
設備資金借入金収入			464,000	464,000	0	
施設整備等収入計（４）			476,772	476,773	(1)	
支出		設備資金借入金元金償還支出	28,929	30,443	(1,514)	
		固定資産取得支出	442,516	481,979	(39,463)	
		フィナンス・リース債務の返済支出	1,100	1,036	64	
		施設整備等支出計（５）	472,545	513,458	(40,913)	
施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）		4,227	(36,685)	40,912		
経常収支差額（７）＝（３）＋（６）		47,793	20,559	27,234		
その他の活動による収支		収入	投資有価証券売却収入	252,278	252,000	278
	積立資産取崩収入		32,000	44,909	(12,909)	
	拠点区分間長期借入金収入		35,000	0	35,000	
	事業区分間繰入金収入		0	0	0	
	拠点区分間繰入金収入		23,687	0	23,687	
	サービス区分間繰入金収入		0	0	0	
	その他の活動による収入計（８）		342,965	296,909	46,056	
	投資有価証券取得支出		252,278	252,306	(28)	
	積立資産支出		0	5,989	(5,989)	
	支出	拠点区分間長期貸付金支出	35,000	0	35,000	
		事業区分間繰入金支出	0	0	0	
		拠点区分間繰入金支出	23,687	0	23,687	
		サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
		その他の活動による支出計（９）	310,965	258,295	52,670	
		その他活動資金収支差額（１０）＝（８）－（９）	32,000	38,614	(6,614)	
予備費（１１）		10,000	0	10,000		
当期資金収支差額合計（１２）＝（３）＋（６）＋（１０）－（１０）		69,793	59,173	10,620		
前期末支払資金残高（１３）			246,763			
当期末支払資金残高（１２）＋（１３）			305,936			

寄付

ご厚意に
感謝いたします
(敬称略)

(社福) 東西福祉会	理事長 松本 信輔
(社福) 進和学園	理事長 出縄 雅之
(社福) 神奈川社会福祉協議会 神奈川モルセター	理事長 鈴木 暢
(社福) 神奈川県総合リハビリテーション事業団	理事長 笠井 郁彦
(社福) ワグネル福祉会	理事長 座間 富蔵
(社福) ア部睦会	理事長 阿部 純子
全国社会就労センター協議会	会長 阿部 寛
(株) 田中建築事務所	代表取締役 阿久津 寛次
積水ハウス(株) 神奈川シャーマンズン支店	支店長 石井 真樹
(社福) 平塚市社会福祉協議会	会長 木川 康雄
(社福) 神奈川県銀行ハビテーション事業部「共栄園」	園長 赤司 伸吾
(社福) 清和会	理事長 浅井 一志
(社福) 清和会 三浦しらとり園	施設長 加藤 芳明
(社福) ア部睦会 共栄荘	施設長 阿部 輝雄
(社福) 神奈川県社会福祉事業団	理事長 芦澤 敏夫
(社福) 厚木慈光会	理事長 天利 俊介
(社福) なごみ福祉会 多摩川あゆ工房	施設長 飯島 克巳
(社福) 光友会	施設長 五十嵐 紀子
(社福) 光友会 神奈川ワークショップ	施設長 平澤 清
NPO法人 ひびき	理事長 石井 憲子
(株) 市川電機	理事長 市川 郁樹
諏訪町会	会長 稲毛 文雄
(社福) 緑友会	理事長 岩崎 尊之
(株) 岩崎商事	理事長 岩崎 祥行
(社福) 三育福祉会	理事長 上田 健
(社福) 三育福祉会 シヤローム浦上台	施設長 宇都宮 明子
(社福) 三育福祉会 特別養護老人ホームシヤローム	施設長 田原 紀美子
(社福) 仲生会	理事長 大畑 直裕
神奈川県平塚ふじみ園	園長 小野田 正幸
(社福) 泰心会	理事長 片平 憲子
(社福) 共生会	施設長 川瀬 和子
(社福) 共生会 藤沢養護老人ホーム	施設長 草柳 直
(社福) 常成福祉会	代表取締役 木村 尊
大栄産業(株)	代表取締役 久保 勤
(社福) 寿徳会	理事長 栗田 敏彦
(社福) 栗山会	理事長 栗山 寛子
特定非営利活動法人 フレッシュ	代表取締役 弦間 勇
(株) インターバル	代表 肥沼 龍一郎
肥沼不動産コンサルティングF事務所	理事長 小島 賢
(社福) 敬和会	理事長 湖山 和英
(社福) エル・エム・ヴィ	代表取締役 酒井 かず子
(株) アイコー	代表取締役 坂本 英夫
(社福) 浜田福祉会	代表取締役 坂本 英夫
(株) ニクス	代表取締役 坂本 英夫

(社福) 県央福祉会	理事長 佐瀬 睦夫
(社福) 聖言会	常務理事 佐竹 敬
(株) K・Sエス・エー	理事長 佐藤 繁夫
(社福) 慈恵会	会長 篠原 正治
(社福) 神奈川県社会福祉協議会	理事長 浅井 伸宏
エフ・エス・エス・シヤパン(株) フロモーション事業部	事業部長 柴山 洋子
神奈川県立平塚養護学校	校長 島川 淳
日清医療食品(株) 横浜支店	支店長 西水 紘一
(社福) さくらの家福祉農園	理事長 鈴木 喜代美
(社福) ひばり	校長 鈴木 正一
神奈川県立秦野養護学校	校長 高橋 眞木
地域活動支援センター ありんこの会	理事長 高橋 通良
(社福) 日辰会	理事長 田中 誠一
(株) 日本活性濾過工業	代表取締役 センター長 土屋 宏
(社福) 日本キリスト教奉仕団 アガペセンター	理事長 土屋 宏
(社福) 紅梅会	理事長 マネー・シャ
シーバース(株)	理事長 都築 淳一
(社福) 富士美	施設長 森弘 樹
(社福) 富士美 特別養護老人ホーム ヒューマン	施設長 中尾 信利
(社福) すきな会	理事長 服部 潤子
神奈川県立伊勢原養護学校	校長 林 淳
(社福) 足柄緑の会	代表取締役 藤本 隆平
クリエティブカミヤ株式会社	理事長 藤本 隆平
(社福) よるべ会 コスタニ宮	施設長 草野 広和
キングダムメディア(株)	代表取締役 松原 達也
(社福) つちや社会福祉会	理事長 水島 米子
(株) ミト開発設計	代表取締役 三吉 俊夫
(社福) 小田原支援センター	理事長 望月 直洋
(社福) 至泉会	理事長 森 三郎
(社福) 至泉会 精陽学園	園長 市川 進治
特定非営利活動法人 平塚4Hの会	代表 森川 幸子
(社福) 福財団生活部 神奈川県済会 余若園	園長 柳沢 誠一
(社福) 倍恵園	理事長 柳沢 誠一
山王総合(株)	代表取締役 山口 真
エトワール総合法律事務所	弁護士 山口 高行
(株) 静岡銀行 平塚支店	支店長 横山 達也
(社福) 喜楽会	理事長 横山 達也
(社福) かながわ共同会	理事長 米山 勝彦
(社福) かながわ共同会 秦野精華園	園長 原田 鉄也
地域作業所かがやき	代表取締役 渡辺 徳男
レモンガス(株) 新規開発事業部	代表取締役 赤津 欣弥
神奈川三菱自動車販売(株)	代表取締役 清水 亨
(社福) よこすか黎明会	理事長 青木 恒也
(社福) 清光会	理事長 原田 忠洋
(社福) 横浜共生会	理事長 村松 紀美枝
(社福) 浄泉会	理事長 西田 精吾
金旭中学校PTA 厚生委員会	
福岡コム工業所	
(株) アドワン	
静岡銀行 平塚支店	

貴峯荘

監事

三田 昌也

有志 一同

監事

山崎 正敏

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

理事

三田 昌也

三田 昌也

いつも貴峯荘のホームページ (<http://kihoso.net/>) をご訪問いただき、誠に有難うございます。只今、ホームページを全面リニューアルしています。より見やすく、より使いやすいウェブサイトとなるよう、さらに運営を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。主なりリニューアル点は、下記の通りです。

- 1 全体のデザインに統一感を出しました。今までの色を大切にしつつ、色によるまとまりが出て、さらに分かりやすくなるよう色で統一感を出します。
- 2 訪問者が利用しやすいナビゲーション各種コンテンツが利用しやすいように、高い視認性と利便性の向上を図ります。

貴峯荘
ホームページ
リニューアル
します！

今回の貴峯だよりの編集作業を進めている最中、県内の障害者入所支援施設で痛ましい事件が発生し、多くのご利用者の方々が犠牲となりました。犠牲者ならびにそのご家族に心より哀悼の意を表するとともに、施設の皆さまが一日も早く落ち着いた生活に戻れますようお祈りいたします。今回の事件を受け当法人といたしましては、関係機関並びに近隣自治会のご協力をいただきながら、従来からの警備・防犯体制をより一層強化しつつ、職員の防犯意識の向上に取り組んでまいります。

これからも、ご利用者・ご家族・職員が安心して利用できる施設づくりを目指してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

貴峯だより編集委員会

編集
後記